

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	野外・レクリエーション論特講		担当教員	仲野 隆士/岡田 成弘/飯田 稔			
	outdoor leisure&recreation						
領域水準コード	C2	単位数	2	履修方法	選択	授業の方法	講義・演習
授業の概要							
この分野における基礎的な解説の後、関連する先行研究や文献などを検討する。 野外教育や野外スポーツについて理解を深める。また、一部実技を行い、野外スポーツや野外教育を体験的に学習する							
授業の一般目標							
野外・レジャー&レクリエーション領域における今日的な問題や課題、取り組みや楽しみ方などについて、深く理解することができる。 野外教育に関連する用語を理解し、野外教育が現代社会においてどのように活用されているかを学ぶ。野外スポーツの魅力や取り組み方を体験的に学習する。							
授業の到達目標							
■ 認知的領域	野外・レジャー&レクリエーション領域の理論的背景を学び、この分野における研究動向や取り組みなどが理解できる						
■ 情意的領域	実際のアウトドアのフィールドでの実践や交流を通して、自分のエモーショナルな感性を再確認・発見する						
■ 技能表現的領域	アウトドアプログラムのPDCAサイクルを実施することで、野外における技術や技能を磨く						
授業計画(全体)							
前半の授業は、講義と受講生によるプレゼンとディスカッションによって進行する。これによって、野外・レジャー&レクリエーション領域の理論的背景を把握する。 後半はの授業では、野外教育の理論と実際を演習形式で理解する。また、野外スポーツを体験的に理解するため、学内での技能習得を行い、学外での実技を行う。							
授業計画(詳細)							
回	授業テーマとその内容						
1	[テーマ] 野外・レジャー&レクリエーションを学ぶ意味 [内容] 授業概要として授業の進め方と基本的な方針について説明する	9	[テーマ] 野外教育の理論と実際① [内容] 野外教育の理論と、実際に行われている教育活動について学習する				
2	[テーマ] レジャー&レクリエーションの諸理論を学ぶ [内容] 野外教育の理論と実際、レクリエーションの基礎理論について解説する	10	[テーマ] 野外教育の理論と実際② [内容] 野外教育の理論と、実際に行われている教育活動について学習する				
3	[テーマ] レジャー&レクリエーション関連の研究の動向1 [内容] レジャー・レクリエーション研究所(財 日本レクリエーション協会)における研究論文について検討する	11	[テーマ] 野外スポーツの実際① [内容] 野外スポーツの基本的な技能を身につける				
4	[テーマ] レジャー&レクリエーション関連の研究の動向2 [内容] レジャー・レクリエーション研究(日本レジャー・レクリエーション学会)における研究について検討する	12	[テーマ] 野外スポーツの実際② [内容] 野外スポーツの基本的な技能を身につける				
5	[テーマ] レクリエーションの行動科学から学ぶ1 [内容] レクリエーション関連の学位論文のまとめかたについて解説する	13	[テーマ] 野外スポーツの実際③ [内容] 身につけた技能を実際の野外のフィールドで発揮し、野外スポーツを体験的に学習する。				
6	[テーマ] レクリエーションの行動科学から学ぶ2 [内容] 先行研究のレビューについて解説する	14	[テーマ] 野外スポーツの実際④ [内容] 身につけた技能を実際の野外のフィールドで発揮し、野外スポーツを体験的に学習する。				
7	[テーマ] レクリエーションの行動科学から学ぶ3 [内容] 結果と考察、結論の導き方について解説する	15	[テーマ] 野外スポーツの実際⑤ [内容] 身につけた技能を実際の野外のフィールドで発揮し、野外スポーツを体験的に学習する。				
8	[テーマ] 授業内プレゼン [内容] 受講生が野外・レジャー&レクリエーションに関するテーマを選んでプレゼンとディスカッションを行う	16	[試験または課題] 授業内プレゼン [方法] 野外教育及び野外スポーツについて、授業で学んだことをまとめ、発表し、ディスカッションを行う。				
授業外学習の指示等							
『レクリエーションの行動科学』を第1回目の授業で配布するので、第5週目までに読んでおくこと							
成績評価方法(方針)							
授業の出席を前提とし、プレゼンの内容と資料作成内容、ディスカッションへの貢献度、PDCAサイクルへの貢献度と取り組む姿勢によって総合的に評価を行う							
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)		
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合 (%)	野外・レジャー&レクリエーション領域は実践的な学問である。そこで、理論的な基礎知識はもとより、現場への応用という実践事例について学習することが重要となる。そこで、授業では前半は講義と演習、後半は演習と実習という形式で展開することを了承の上、積極的に受講してほしい。特に実習では、大いにアイデアと個性を出し、を受講生を中心に有意義なプログラムを企画してほしい。		
定期試験(期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○			30			
授業外のレポート	○	○	○	40			
ポートフォリオ							
出席							
その他	○	○	○	30			
関連科目							
教科書			参考書	池田勝・永吉宏英・西野仁・原田宗彦共著「レクリエーションの基礎理論」杏林書院、1989 二宮浩彰筆「レクリエーションの行動科学」不昧堂出版、2007 他			
連絡先							
仲野研究室:A508/岡田研究室:A509							